



新型コロナウイルスのための自粛・休校が解除され、街に人々の息づかいと子どもたちの笑い声が戻り、ホッとしている方も多いのではないのでしょうか。通勤時、子どもたちの登校する姿と、見守り隊の方々の笑顔に癒されます。“そこに居る”ということの大切さを再認識しています。朝夕の見守りと声かけをありがとうございます。皆で子どもたちの健やかな成長を願うところです。



## 休校等による補導状況の変化

2019年度の市青少年センターの声かけ（補導活動）は、右図の通り遅刻が圧倒的に多く、続いて怠学でした。増減はあっても、毎年この傾向です。2020年度の4～5月は休校のため遅刻・怠学は0。ゲームセンターや商業施設等も休業だったため、公園でのスケートボードや自転車への声かけが2か月で173件にのびりました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度	30	43	60	21	3	58	53	67	53	74	31	11	504
喫煙	3	4	-	-	3	-	-	-	1	-	1	11	23
怠学	4	3	3	11	-	8	5	8	3	20	10	-	75
遅刻	21	34	53	8	-	44	41	56	49	53	19	-	378
飲酒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
家出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
その他	2	2	4	2	-	6	7	3	-	1	1	-	28

広島県警が今年4月に実施した少年補導と児童虐待の相談受理件数は前年同期より約2割増加とのことです。

4月から児童福祉法と児童虐待の防止等に関する法律が改正され、親権者等による体罰が禁止になりました。国は、体罰等によらない子育てを推進するために、子育て中の保護者への支援も含め、社会全体での取り組みを呼びかけています。

体罰等によらない  
子育てのために  
みんなで育児を  
支える社会に

日本は  
世界で59番目の  
体罰全面禁止国

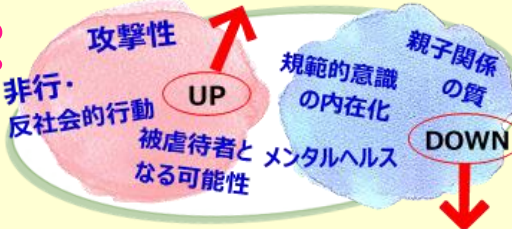
体罰禁止の  
効果は？

スウェーデンやドイツ、スペインなど体罰全面禁止国では体罰・虐待が減少し、若者の暴力も減少しています。

体罰って  
どんなこと？

- 何度も言葉で注意したけど言うことを聞かないので叩いた
- いたずらをしたので長時間正座させたなど

体罰をすると  
子どもへの  
影響は？



見守り、声かけをすることによって、子育てを孤立させない、緩やかに支え合う社会が大切です。もしも気になる事案がありましたら、児童虐待については、ネウボラ推進課 928-1258，児童相談所全国共通ダイヤル 189（いちはやく），少年相談は青少年センター 928-1046 へご相談ください。

## 7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」並びに「社会を明るくする運動」・「再犯防止啓発月間」です

2年に一度の育成員の委嘱替えをさせていただきました。継続の方も新規の方もよろしくお願いいたします。

今年は新型コロナウイルスの影響のため、委嘱式と市民運動推進大会は中止としました。しかし、青少年が健やかに育つことを願う思いに変わりはありません。感染症や急な休校への不安の中、ストレスが増え、しんどさを抱える子どもやご家庭があるかも知れません。見守りと声かけをお願いします。

### ◆今年度の重点課題◆

- ① インターネット利用に係る子供の性被害の防止
- ② 有害環境への適切な対応
- ③ 薬物乱用対策の推進
- ④ 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- ⑤ 再非行（犯罪）の防止
- ⑥ いじめ・暴力行為等の問題行動への対応

今年度から福山市青少年センターの指導員としてお世話になっています。よろしくお願いします。

4月当初午前中は福山駅周辺、午後は大型商業施設や娯楽施設、スクールサポーターが配置されている中学校の周辺を巡回していました。ところが新型コロナウイルスの影響で、各学校は臨時休校、大型商業施設等は臨時休業となり、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しました。その結果、巡回をしても子どもたちの姿を見かけることがほとんどなくなりました。



しかし、公園緑地課から「最近スケートボードが禁止されている場所で若者が集まって地域に迷惑をかけている」と連絡がありました。それを受けて、駅北口付近の公園や緑町公園等を巡回することになりました。実際回ってみると、緑町公園では、ほぼ毎日のように小中学生から高校生、有職無職の少年がスケートボードをして遊んでいます。5月末時点で158件補導しました。多くの場合、遊んでいる子たちに声をかけると素直に話を聞いてくれます。中にはリピーターもいて、我々の姿を見ると「わかってます。」とその場ではやめても、次の日にはまた姿を見せます。スケートボードをして楽しむこと以外にそこに集まる者同士で交流することが楽しみになっているようです。



5月下旬になって警報が解除され、商業施設等が再開されました。それに伴い、街にも徐々に活気が戻ってきました。併せて子どもたちの姿を見かけることも多くなってきました。巡回中声をかける機会も徐々に増えています。6月からは各学校とも新型コロナウイルス感染予防に努めながら再開されました。これからも先輩の指導員からの教えである『補導とは、子どもたちにただ声かけをすることではなく、声かけによって子どもたちの健やかな成長のために、補い導くものである。』を信条としてがんばっていきたいと思っています。（廣中）

## 中央青少年育成員のコーナー

この度の新型コロナウイルス感染症の影響で、自粛ムードの中、家庭でも大変なことになり、子どもたちは色々とストレスを感じていたと思います。

先日、私事ですが、犬の散歩のため川沿いを歩いているときに、3人の子ども達（中学生と高校生）が釣りをしている姿を見かけました。子どもたちから、「こんにちわ。」の挨拶があり、「釣れるかな。」と聞くと、「釣れました。でもリリースしたよ。あの時の確認が面白かったよ。」とっていました。「少しストレスが発散できた？」と聞くと、「面白かった。」と返事があり、楽しい会話をしました。



また公園では5～6人の子ども達が会話をしているところに出くわし、その内の1人が「こんばんは。」と挨拶してくれたので、こちらも「こんばんは。」と挨拶をして早めに帰宅するよう奨めたら、「わかりました。掃除をして帰ります。」とっていました。

私が育成員であることは言いませんでしたが、少年たちのもつ優しい内面の言葉を聞くことができました。このような子ども達と一人ひとり、話や挨拶を交わすことで、“育成をしていくこと”を知ります。

最後に、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が変わっている事が多く大変ですが、3密を避け、マスクをし、手洗いをして、感染予防のための行動を努めましょう。（道上学区 三宅）



### ◆子ども 110 番の家の協力件数（2020年3月時点）◆

設置件数・・・5,482軒  
一駆け込み事例1件  
不審者による声かけ、通報により解決

プレートの設置のほか、  
110番の家の周知、  
見守り、危険個所の確認等

ご協力  
ありがとうございます！



### 編集後記

昨年度、青少年・女性活躍推進課に異動しました。中学生の子どもたちの夢の実現に向けてサポートする取組の中で、自分に自信がなかった子が取組の過程で自信をつけ、いろいろな活動に積極的になっていきました。意欲をもって努力する子どもたちの姿や、成長の場に立ち会うことが出来、この課ならではのやりがいを感じる事が出来ています。これからも未来を生きる子どもたちとの交流を楽しみに、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（戸田）

